



PCルームで学習する子どもたち



# ほうない

第13号

 村上市立保内小学校  
**強い心 豊かな心**

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

## 文明の利器

かつて私は、「文明の利器」という言葉を耳から得たために、「文明の力」と誤って認識していました。「利器」とは、鋭い刃物のことを指しており、文明の発達によりもたらされた便利な機械・器具といった意味だそうです。本来刃物であったことを考えると、いわば「エッジの鋭い新しいツール」といったところなのかもしれません。

小学校にも、この文明の利器となり得る道具が導入されます。現在、文部科学省が推し進めているGIGAスクール構想によって、村上市内の小中学校では、四月より児童生徒の一人一人にタブレット端末が配付されます。そして、大勢の児童生徒が、同時にネットワークに接続しても、ストレス無く円滑に利用できる高速の通信環境が、更に各教室には電子黒板としての機能をもった大型の提示装置も整備されます。

四月から始まる新年度の学習が、このような文明の利器によって大きく変わります。国の調査によると、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、日本の子どもたちの学校の授業におけるICT機器の使用時間は最下位なのです。しかし学校外での利用に関する調査では、違った結果となっています。学校外では、ゲーム機やネットなど、学習以外の利用が多く、平均よりも高いのです。それに対して、学習での利用になると平均よりも下となるのです。

ここ数十年間、学校は「世界で通用するICT人材」の育成を怠ってきたと言われています。その現実にはしっかりと向き合わなければなりません。今がその良いチャンスだととらえています。しかし、機器の利便性や操作技能にばかりに特化することなく、情報モラルやマナーなどの育成も怠ることはできません。ICTやネットに振り回されず、上手に活用して社会を生き抜いていく力を育てていかなければならないのです。

校長 須貝 学